

【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024年12月1日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
胃癌	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術前補充療法 <input type="checkbox"/> 術後補助療法	ゾルベ [®] ツキシマブ + XELOX療法	21日間	規定無し	中（高）

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	パロノセトロン デキサート ポラミン アロカリス 生理食塩液	0.75mg 9.9mg 5mg 235mg 100mL	点滴静注	30分	↓																				
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓																				
③	ピロイ 生理食塩液 大塚蒸留水	初回：800mg/m ² 2回目～：600mg/m ² 1000mL 溶解用	点滴静注	2時間以上 (院内規定あり)	↓																				
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓																				
⑤	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓																				
⑥	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	10分	↓																				

《注意事項・備考》

- ・ 制吐療法：悪心嘔吐状況に応じてday2～DEX4-8mg/day 2日間考慮（day1～ORA5mg/day 5日間考慮）
- ・ Cape用量：BSA < 1.36m²：2400mg/day、1.36m² ≦ BSA < 1.66m²：3000mg/day、1.66 ≦ BSA < 1.96m²：3600mg/day、BSA ≧ 1.96m²：4200mg/day
- ・ Cape服用期間：day1 夕食後～day15 朝食後まで
- ・ HFS予防(Cape)：ヘパリン類似物質クリーム/ローション適宜使用、市販の保湿剤使用も可
- ・ ゾルベツキシマブ：2時間以上かけて6時間以内に投与終了（院内規定あり）
- ・ ゾルベツキシマブ：インフュージョンリアクション対策としてポラミン注5mg前投与
- ・ 原則入院化学療法で投与